

コード No. 28145

**Anti-  
Human Girdin (Phospho-Y1764) Rabbit IgG A.P. (Affinity Purify)**

容量 : 50 µg

はじめに : Girdin は、がん細胞の浸潤や転移に重要な役割を果たす新しいタンパク質です。名古屋大学高橋らの研究チームは酵母 two-hybrid 法を用いたスクリーニングにより、Akt の新規基質である Girdin (Girders of actin filament の略) を発見し、Girdin が Akt の下流で細胞運動に重要な役割を果たしていることを明らかにしました。機能解析により Girdin が新規アクチン結合蛋白であり、Akt によってリン酸化を受けるとアクチン線維の再構成を生じ、細胞運動に重要な役割を果たす細胞先端端のラメリポディアの形成に関与していることが証明されました。当社では、リン酸化 Girdin 抗体を含む各種抗体を販売しており、最近これらを用いた研究により、Girdin のリン酸化状態の変化が、細胞移動に関連した *in vivo*, *in vitro* での構造変化に関連していることが示されています (参考文献 1)。

免疫抗原 : ヒト Girdin のリン酸化部分合成ペプチド (RKTEDT(pY)FISSAG)

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN<sub>3</sub> 含有 PBS 0.5mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 0.5 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び安定性 : 2~8 °C 保存 5 年間安定  
溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定使用目的及び使用方法 : 免疫細胞染色 0.2µg/mL にて使用可能  
: ウェスタン ブロットィング 0.4~1µg/mL にて使用可能

特異性 : ヒトのリン酸化 Girdin に反応

参考文献 : 1. Omori K, Asai M, Kuga D, Ushida K, Izuchi T, Mii S, Enomoto A, Asai N, Nagino M, Takahashi M. Girdin is phosphorylated on tyrosine 1798 when associated with structures required for migration. *Biochem Biophys Res Commun.* 2015 Mar 20;458(4):934-40.